

シェード専用ポール発売

工場・保育園の引き合い増

旗ポール・車止めのトップメーカー、サンポール(本社＝広島市、山根令社長)は、熱中症対策用のシェード専用ポールの販売を6月から開始した。ポールを施工できる場所であれば敷地の形状を問わず設置できる製品で、すでにレジャー施設や工場敷地内、保育園、公園向けで引き合いが増えている。現在はパンフレット営業を中心にPRしており、働く人々や子どもたちの熱中症対策に貢献していきたいと考えた。

サンポール

日よけポール「シェードポール」は、旗ポールの加工技術を生かして製造するアルミ製の専用ポールを複数設置し、シェードをロープで引き上げて使用する。複雑な機構がなく操作も簡単で、安全面と機能性を重視した設計とした。

施工方法は、不要時にはポールを取り外すことができる。差し込み式、コンクリート基礎に完全に固定する埋め込み式、基礎とアンカーポルトで固定することで将来的な移設工事を軽減できるベース式から選べる。差し込み式はポール差し込み口をふさぐふたも付いており、車両が通過する場所やイベント会場に用いることができるスペー

スでも設置が可能だ。シェードは遮光性のあるメッシュ生地を採用し、防炎加工タイプと軽量タイプを用意。ポールの高さは3・5メートルあり、地面からシェードまでの高さはシェードが自重で垂れ下がる中心部分でも約2・5メートル確保できる。シェードの標準サイズは幅5メートル×長さ3・6メートル。オーダーメイドにも対応しているため、設置は自由にレイアウト

日よけポール「シェードポール」の設置イメージ



できる。ポールを3本設置して三角形のシェードを取り付ける。ポールを6本使用して2枚のシェードを取り付

けるといった施工も可能なため、敷地の形状や広さに合わせて日差し対策を行うことができる。

当初は保育園での園児の熱中症対策に活用してもらおうと開発に至ったが、さまざまな事業者から問い合わせが来ているという。すでにレジャー施設や工場敷地内向けにも販売実績があり、工場向けでは廃材を入れるコンテナの前に複数のシェードポールを設置した。

近年は人手不足の解消や労働環境改善に向け、工場などの熱中症対策を進める企業も増えている。6月からは職場における熱中症対策が義務化されており、同製品をさまざまな場所での熱中症予防に役立ててもらいたいと考えた。